六甲山大学
ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。（原則、毎月第３月曜日に掲載します）

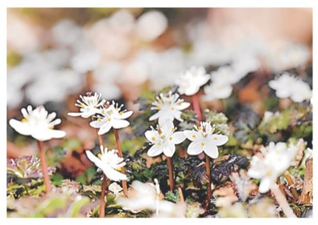
六甲高山植物園

早春の花に会える特別開園

六甲高山植物園は、冬季休園中の２月21日～３月８日の土日・祝日、春一番に咲くバイカオウレン＝**写真**＝やセツブンソウを楽しめる「冬季特別開園」を催す。

いずれも植物学者牧野富太郎が生涯愛したとされ、林床に咲く姿に春の訪れを感じられる。黄金色のフクジュソウや山に春を告げるマンサク、ずんぐりとした形が愛嬌たっぷりのザゼンソウなども咲いている。

初日21日のみ神戸市の市花アジサイで「六甲ブルー」と呼ばれる青に色づくヒメアジサイの苗を先着100人に、また期間中、今年のオリジナルカレンダーを全員にプレゼントする。



午前10時半と午後１時からは園内の早春の花々を巡るガイドツアーも開催。誰でも無料で参加できる。ぜひ足をお運びください。

神戸布引ハーブ園／ロープウェイ

イチゴのフェア開催中

神戸の市街地からロープウエーで約10分。標高約400㍍にあるリゾート施設「神戸布引ハーブ園／ロープウェイ」は、イチゴをふんだんに使ったスイーツなどを味わう「ストロベリー・セレクション」＝**写真**＝を開催。園内のレストランやカフェラウンジ、絶景テラスで提供している。

屋外広場では３月７日から「ハーブマルシェ」を実施。厳選したドイツビールやワイン、オリジナルのハーブソーセージ、子羊のブロシェットなどを用意する。同14日から多彩な企画がある「ガーデン・フェスト」も。土日・祝日はナイター営業もある。７月５日まで。

園内では３月中旬からミモザやヤマザクラ、チューリップが順次開花。手ぶらで楽しむ「ガーデンピクニック」（１日10組限定、要事前予約）も受け付け中。サイトwww.kobeherb.com、☎078・271・1160

オクタファーム

召しませ、イチゴ「章姫」

山と田んぼに囲まれた、自然豊かな里山の一角にあるイチゴ農園「オクタファーム」（神戸市北区八多町）＝**写真**。春にはイチゴのハウス越しにサクラを望め、近くの川ではメダカが泳ぎ、初夏にはホタルが舞う姿を見られる。

この穏やかな環境で育つのがイチゴの品種「章姫」。初冬から５月ごろまで、直売やイチゴ狩りを通し、完熟ならではの甘さを楽しめる。園内には小さな子どもを連れた家族の姿も多く、世代を問わず親しまれている。家族経営ならではのアットホームな農園で、季節の移ろいを感じながら過ごしませんか。

営業日やイチゴ狩りの実施状況、最新情報は公式ホームページか電話で確認できる。

同ファーム☎080・5353・1599

理想の森林 古刹で考える

神戸・太山寺の照葉樹林調査に同行

県内最古の磨崖仏も　探検気分で散策

里山からの移行、防災面で懸念

根岸真理が案内　山の四季便り

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう！」など。

奈良時代の創建と伝わる神戸市西区伊川谷町前開の古刹太山寺。境内には市内唯一の国宝建造物である本堂などがあり、とても趣深い。そして周辺の原生的な自然林は県指定天然記念物。六甲山地の植生の将来図とされる照葉樹林で、防災を考える上で重要なため、専門家らが継続的に調査している。先日取材させてもらった。

照葉樹林が専門で、このエリアの植生に詳しい服部保・兵庫県立大学名誉教授（77）らのチームに同行した。山林に入ると数人ずつに分かれ、メジャーで10㍍四方の調査区を設定、区画内に生える植物をすべてリストアップしていく。コジイ、クロガネモチ、カクレミノ、モチノキ、ヤブツバキ、カゴノキ、オガタマノキ…。高木から順に樹種と本数、およその樹高や地面を覆う面積などを記録し、シダ類などの下草も確認する。

調査には森林整備の専門家や学生、同市職員ら計16人が参加。多彩な年代と立場のメンバーが役割を分担し、テキパキと作業を進めていくのが印象的だった。

照葉樹林の植生調査をする服部保・兵庫県立大名誉教授（中央）ら＝いずれも神戸市西区伊川谷町

県指定文化財に指定されている太山寺の三重塔の背後に広がる照葉樹林

取材後、同寺の東側を流れる伊川沿いの岩壁に兵庫県下で最古の磨崖仏があると聞いて探してみた。車が通らない舗装道は地元の人の散歩道になっているようで、出くわしたご夫婦が場所を教えてくれた。その「同寺磨崖不動明王」については道沿いに案内看板はあるのだが、磨崖仏自体は対岸にあり、かなり分かりにくいので助かった。

伊川沿いの岩壁に彫られた磨崖仏

さらにご夫婦の勧めで、西側の山林にある帝釈観音堂にも足を延ばしてみることに。西国三十三所霊場を模して山道沿いに並ぶ石仏をたどりながら、深い森を登ること約15分。山頂手前に神秘的な巨岩が鎮座し、その上に御堂が建っていた。山頂部には役行者や不動明王を祭るほこらもあり、なかなかの探検気分を味わえた。

市営地下鉄「学園都市」駅から歩くと約30分。周辺は市内とは思えない、のどかな里山風景が広がっている。これからの季節はツツジの仲間やオガタマノキの花を楽しめ、サクラの名所でもあるそう。近くには温泉施設もあり、本数は限られるが、名谷・明石からのバス便もある。

照葉樹林はツバキやシイ類、カシ類など、冬でも葉を落とさない常緑広葉樹林。日本では本来、国土の多くがそうだったが、神戸を中心に兵庫県エリアでは神社仏閣の社寺林に残る。中でも太山寺は県内でも最大級の面積があり、生物多様性も豊かという。

神戸市によると、六甲山地では現在、落葉樹が中心だが、将来は温暖な気候に適した照葉樹林に変化するといい「里山林から移行した照葉樹林は構造や樹種構成が極めて単調になり、生物多様性に乏しいことが大きな問題」という。兵庫県立大学名誉教授の服部保さんも「既に移行している場所もあり、高い照葉樹だけが過密になれば林床に日光が当たらず、草本やつる植物などが育たず表層が弱くなり、災害につながる」と話す。そのため太山寺の寺有林を六甲山地の「目標林」の一つと捉える。

太山寺では1967年から神戸大学や兵庫県立大学などが調査。今回は6回目で、同市が、服部さんが会長の兵庫自然研究会に委託した。服部さんは「六甲山地は日本一の都市山。過去の調査と比較し、太山寺の植生の変遷をたどることで六甲山地の適切な植生管理につなげたい」と話す。（松本寿美子）

環境学部

◆あいな里山で春の訪れを感じよう！　３月定例自然観察会　３月15日10～14時半頃、あいな里山公園伝庫の家＝**写真**＝付近に集合（神鉄「藍那駅」から徒歩20分「藍那歩行者口」より入園）。園内散策路を歩く。カンサイタンポポ、ヒメオドリコソウ、ウメ、モモ、ヤブツバキなどの開花を予想。弁当、飲料水、雨具、観察用具など持参。300円（別途入園料大人450円、65歳以上210円）。予約不要。雨天中止、前日の夕方以降に六甲山自然案内人の会ＨＰで要確認。同会☎080・2892・0761（19～21時）

芸術学部

◆フェア「ハーモニー・オブ・ガーデン」　３月14日～８月21日10～17時（チケット販売終了16時半）、ROKKO森の音ミュージアム（六甲ケーブル「六甲山上」駅から六甲山上バス「森の音ミュージアム」下車。ケーブルは４月10日まで運休予定、代替バスあり）。庭園に花々が咲き出す季節＝**写真**。春は「ワルツ」をモチーフに、座ると音楽が流れる「音のベンチ」や植物にちなむ楽曲を自動演奏する「演奏家のいないコンサート」を楽しめる。入場料中学生以上1700円、４歳～小学生850円。木曜休み（４月30日と７月23日～８月20日の木曜は営業）。同ミュージアム☎078・891・1284

健康学部

◆岡本（ほくら～ととや）桜回廊づくりプロジェクト　第11回岡本桜回廊を巡るお花見ハイク　４月４日９時から約５時間（予備日５日）、ＪＲ甲南山手駅北側広場集合。市街地に近い山の斜面に植樹・育樹を行う「六甲山系グリーンベルト整備事業」の一環。過去11回に植樹したヤマザクラなど620本の状況確認と所属団体の活動地見学を兼ねたハイキング＝**写真**。登山道で自然観察会やごみ拾いも行う。昼食、飲み物、帽子、軍手持参。無料。対象は幼稚園児以上（幼・小・中学生は保護者同伴）。先着100人。①魚屋道尾根コース②薬大尾根コースのどちらかを明記し、３月13日までにメールで申し込む。「ほくら～ととや森の世話人倶楽部」事務局長の冨田さん（spy45ha9@cup.ocn.ne.jp）

◆身近な薬草観察会　森の薬箱～早春編～　３月15日10時半～12時半、神戸市立森林植物園（神鉄「北鈴蘭台」駅から無料送迎バス）。元神戸薬科大学薬用植物園の沖和行さんが植物にある力について解説する。大人300円、小・中学生100円。（別途入園料大人300円、小・中学生150円）。定員50人。要予約、抽選。17日まで受け付け。詳細や申し込みは森林植物園ＨＰ。少雨決行。同園☎078・591・0253

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

六甲大学
ROKKO-SAN DAIGAKU
六甲山大学・情報凝縮サイト
653daigaku.com
わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています
協賛企業
Daiwa House
想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA
六甲山観光株式会社
KOBE Mt.Rokko ART & TOURISM Co., Ltd.
（順不同）
【実行委員会】六甲摩耶観光推進協議会／摩耶山観光文化協会／灘百選の会／神戸観光局／神戸新聞社　【事務局】神戸新聞地域創造内　e-mail:info-653@kobe-np.co.jp